

2023年度以降の地域間連系線の 運用容量に長期間影響を与える件名

2021年 3月 1日

電力広域的運営推進機関

- 年間作業停止計画は翌年度・翌々年度分について調整・承認することが、業務規程で定められている。
- それに加え、長期的な予見性を確保するため、第3年度（2023年度）以降の件名が具体化している地域間連系線の運用容量に長期間影響を与える件名についても、以下のとおり公表する。
- なお、以下の件名の作業時期・期間及び作業工程等については確定したものではなく、今後、送配電等業務指針第244条（作業停止計画の調整における考慮事項）の規定に基づき、調整を継続する。

（該当件名）

No.	連系線	停止（制約）設備	主要作業件名	作業時期・期間（予定）
①	東北東京間	いわき幹線2号	いわき幹線2号 GISスパーサ修繕	2023年11月～12月頃（30日程度）
②	東京中部間 （新信濃）	南信幹線1回線停止に伴う中信変電所系統切替による新信濃FC制約	下伊那分岐線新設工事 （リニア中央新幹線関連工事）	南信幹線2号線：2023年3月～4月（39日間） 南信幹線1号線：2023年4月～6月（45日間） 南信幹線1，2号線交互：2024年4月～9月 （最大50日程度）
③		新信濃2号FC	2号FC保護制御装置更新	2023年10月頃以降、連続7ヶ月間程度
④	北陸関西間	越前嶺南線1回線	電力線張替工事	2023年9月～11月の間で 連続2ヵ月強程度

①東北東京間連系線：いわき幹線2号GISスペーサ修繕工事

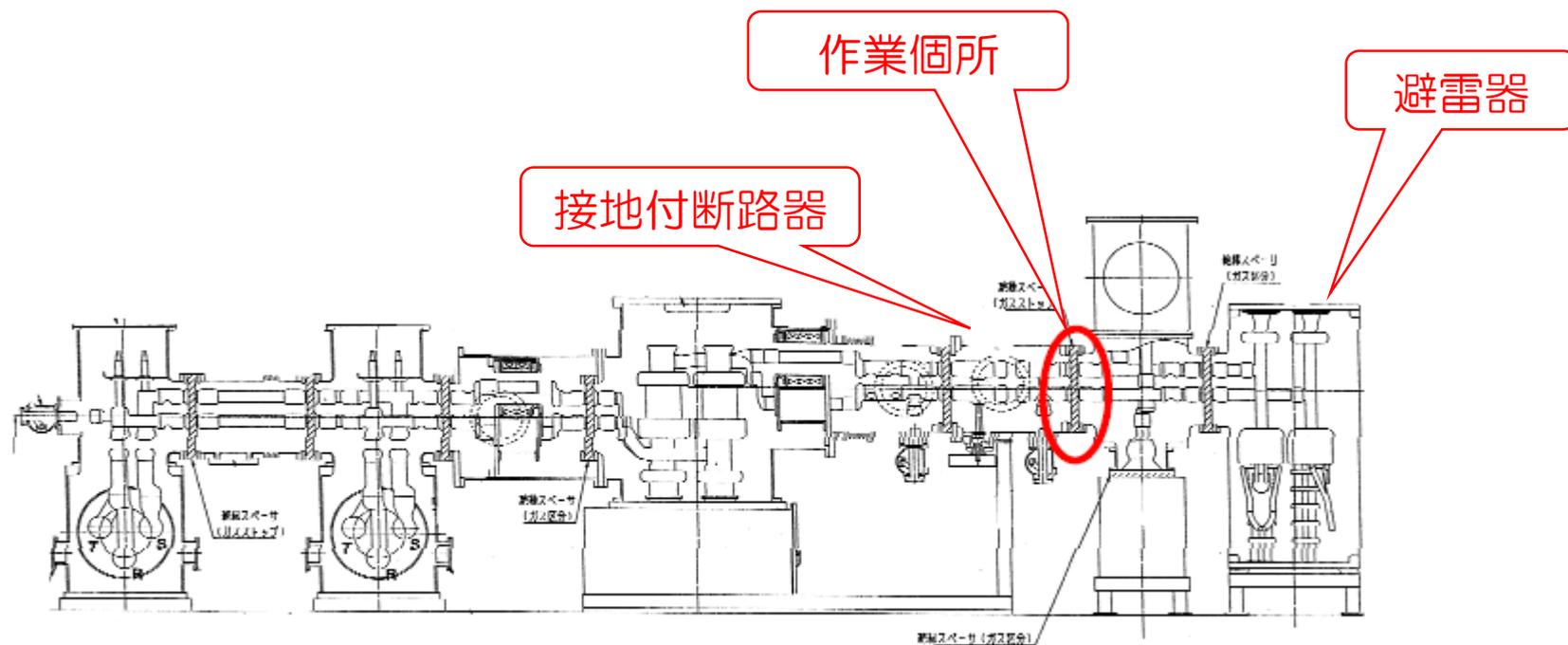
【作業概要】

項目	内容
作業箇所	南相馬変電所 いわき幹線2号
主要作業内容	いわき幹線2号 GISスペーサ修繕工事
停止(制約)設備	いわき幹線2号 停止
作業停止期間 (予定)	2023年11月～12月頃(30日程度)
作業の必要性	いわき幹線2号のLA(避雷器)～42AG(接地付断路器)間のGISガス区分スペーサに異常(ひび割れ)があり、現在応急処置で対応していることから、恒久対策を実施する。

※作業停止期間、作業工程等の詳細は調整中

①東北東京間連系線：いわき幹線2号G I Sスペーサ修繕工事

【概略図】



275 kV GIS内部構造図

②東京中部間連系設備：下伊那分岐線新設に伴う新信濃F C制約

【作業概要】

項目	内容
作業箇所	南信幹線1回線
主要作業内容	【下伊那分岐線新設】鉄塔建替に伴う移線工事ほか
停止(制約)設備	南信幹線1回線停止に伴う中信変電所系統切替による新信濃F C制約(最大60万kW制約)
作業停止期間(予定)	2号線：2023年3月～4月 (39日間) 1号線：2023年4月～6月 (45日間) 1, 2号線交互：2024年4月～9月(最大50日程度)
作業の必要性	リニア中央新幹線への電源供給のための下伊那分岐線新設に伴い、分岐鉄塔である南信幹線の一部鉄塔の建替が必要。

※作業停止期間、作業工程等の詳細は調整中

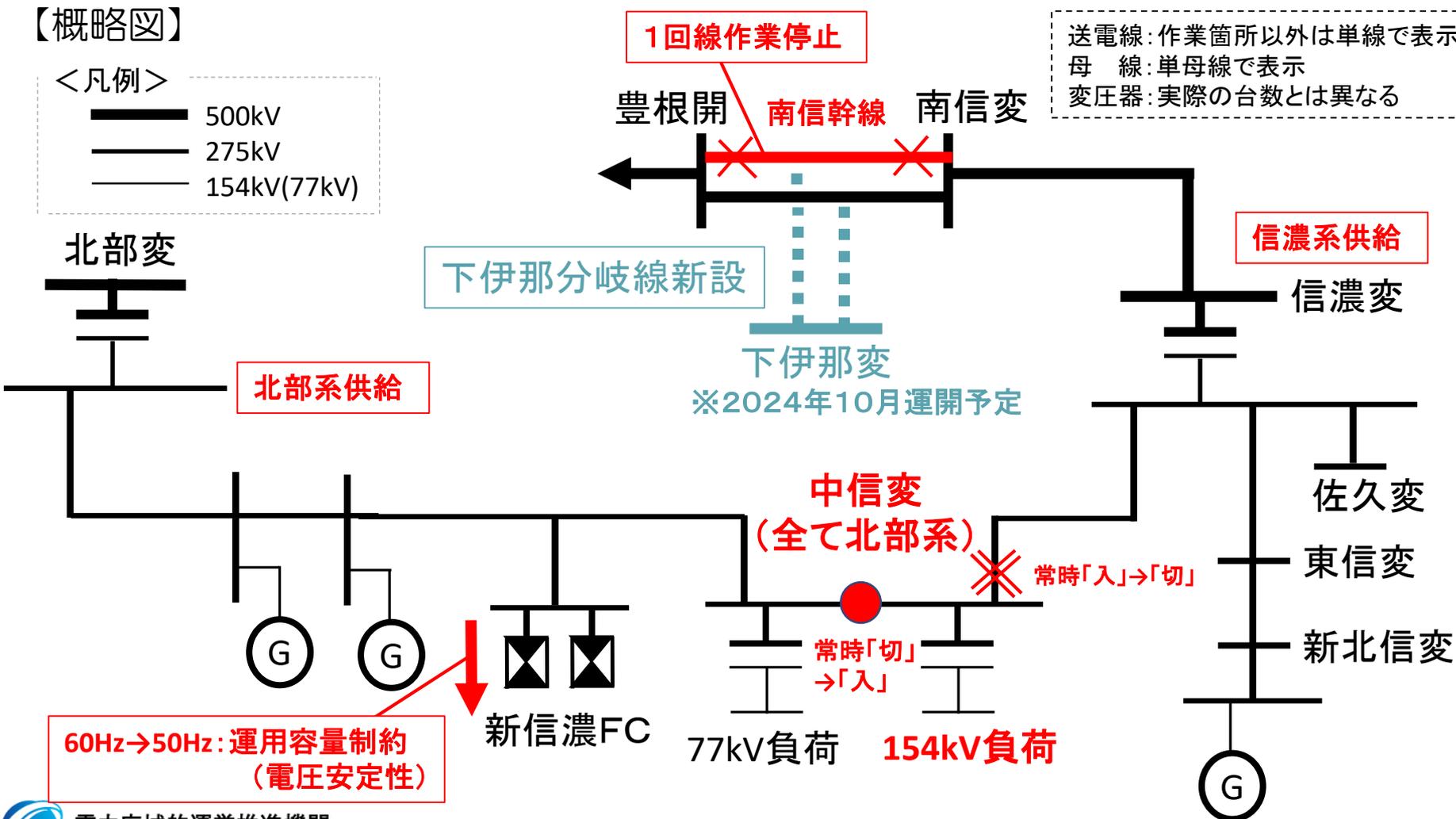
②東京中部間連系設備：下伊那分岐線新設に伴う新信濃FC制約

中信変電所の154kV負荷は常時は信濃系供給であるが、南信幹線1回線停止に伴い、供給信頼度の観点から、北部系供給へ切替。その結果、電圧安定性面から、新信濃FCに運用容量制約が発生。(新信濃FCが重潮流になると中信変の電圧が大きく低下する)

【概略図】

<凡例>

	500kV
	275kV
	154kV(77kV)



③東京中部間連系設備：新信濃2FC直流制御保護装置更新工事

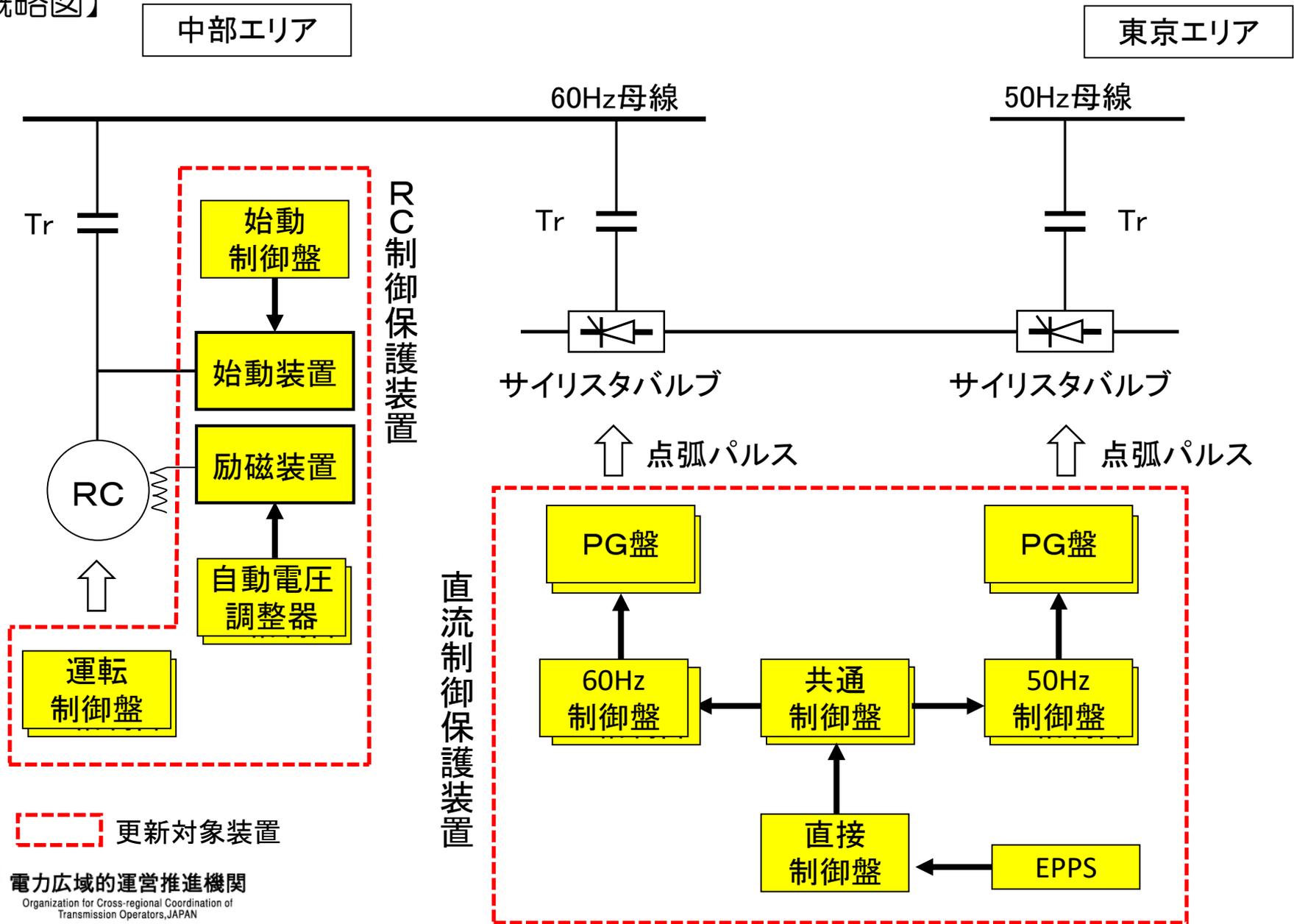
【作業概要】

項目	内容
作業箇所	新信濃変電所
主要作業内容	直流制御保護装置の更新工事
停止(制約)設備	新信濃2FC停止（新信濃1FC、飛騨信濃FCの随時停止を伴う）
作業停止期間 (予定)	2023年10月頃以降、連続7ヶ月間程度（装置取替工事＋各種試験）※
作業の必要性	新信濃変電所2号FCおよびその関連設備であるRC（同期調相機）の制御保護装置は1991年製であり、主要部品の製造中止に伴う製作者による保守対応期限を迎えている。このため、2023年度から2024年度にかけて更新工事を実施。

※作業停止期間、作業工程等の詳細は調整中

③ 東京中部間連系設備：新信濃2FC直流制御保護装置更新工事

【概略図】



④ 北陸関西間連系線：越前嶺南線 1 回線電力線張替工事

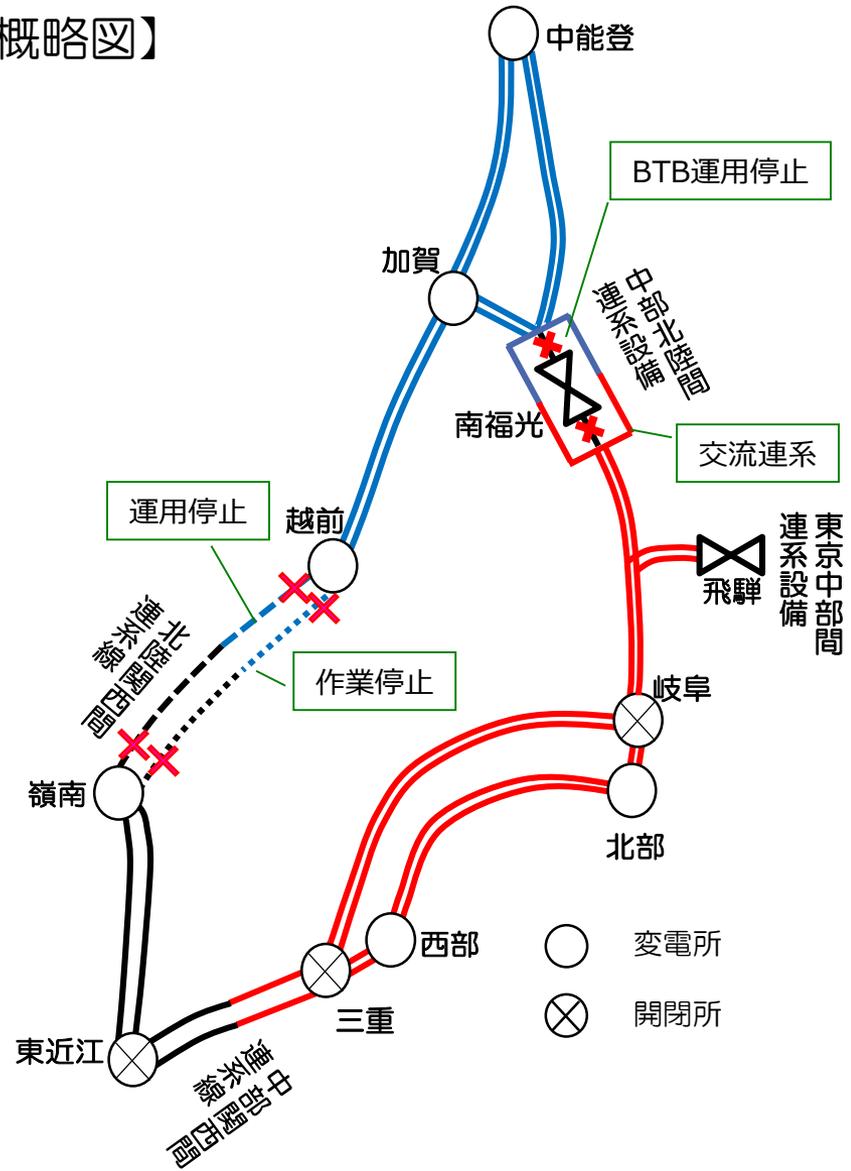
【作業概要】

項目	内容
作業箇所	越前嶺南線 1 回線
作業内容	電力線張替工事
停止(制約)設備	越前嶺南線 1 回線停止
作業停止期間 (予定)	2023年9月～11月の間で連続2ヵ月強程度
作業の必要性	越前嶺南線の設備は1974年の運用開始から経年47年であり、腐食により老朽化が進んでいることから設備事故防止のため電力線張替が必要。

※作業停止期間、作業工程等の詳細は調整中

④ 北陸関西間連系線：越前嶺南線 1 回線電力線張替工事

【概略図】



■ 北陸関西間連系線 1 回線停止時の運用

- N-1故障発生時のルート断や、北陸フェンス運用容量の大幅な低下を回避するため、北陸関西間連系線を1回線停止する場合は、北陸関西間連系線をルート開放し、南福光地点で交流連系する。(BTBは運用停止)